

ソーラーシェアリング用木製架台（みらいのはたけプロジェクト）が「2021年度グッドデザイン賞」を受賞

泉産業株式会社が手掛けるソーラーシェアリング用木製架台（みらいのはたけプロジェクト）が、このたび2021年度グッドデザイン賞（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）を受賞しました。この木製架台は、地域の原風景に調和し、持続可能なエネルギー供給の在り方を示した結果、高く評価されました。当社では今回の受賞を契機にソーラーシェアリング用木製架台の販売拡大を図るとともに、新しい形の農業、再生可能エネルギーの普及促進に努めて参ります。

□ 製品名称：ソーラーシェアリング用木製架台

□ 製品概要：地産地消の木製架台。

一般流通材を主構造とした架構システムの開発により、（アルミや鉄を主構造としたフレームと比較して）製造工程におけるCO2排出量を低減する、地産地消の太陽光架台の実現を目指した。

農地の新しい風景＝“みらいのはたけ”を作ることを目指している。

□ 事業主体：泉産業株式会社

□ デザイナー：HSSD（佐藤寛之企画設計）

デザイナー氏名：佐藤寛之

□ グッドデザイン賞審査委員による評価コメント

気候変動や生態系の喪失を考えると再生可能エネルギーへのシフトは必須だ。しかし、同時に森を切り開いて斜面にメガソーラーを立て、地域の原風景が台無しになる悲しいさまも地域で多くみられる。そこで注目されるのが農業とメガソーラーを一体化させるソーラーシェアリングだが、その構造体もまた無機質な金属のパイプが並ぶ景色ではある。しかし、本プロジェクトのように木造のソーラーシェアリングが普及すると、地域の原風景に馴染む持続可能なエネルギー供給のあり方が実現するかもしれないと期待する。

□ グッドデザイン賞ウェブサイトでの紹介ページ

<https://www.g-mark.org/award/describe/52874?token=VGZMQQrgpq>

グッドデザイン賞とは

1957年創設のグッドデザイン商品選定制度を継承する、日本を代表するデザインの評価とプロモーションの活動です。国内外の多くの企業や団体が参加する世界的なデザイン賞として、暮らしの質の向上を図るとともに、社会の課題やテーマの解決にデザインを活かすことを目的に、毎年実施されています。受賞のシンボルである「Gマーク」は優れたデザインの象徴として広く親しまれています。

<http://www.g-mark.org/>



※ソーラーシェアリング用木製架台の写真データ等を用意しています。下記お問い合わせ先までご請求ください。

このプレスリリースに関するお問い合わせ先

みらいのはたけ（泉産業株式会社） 広報部 担当：宮下 TEL：03-6323-6031

E-mail：info@miraino-hatake.jp ウェブサイト：<https://miraino-hatake.jp/>



みらいのはたけ

みらいのはたけプロジェクトとは・・・



「みらいのはたけ」と聞いて、皆さんはどんなハタケを思い浮かべますか？

我々が取り組んでいる「みらいのはたけ」は、地球にも人にも優しい、新しい形の農業システムの構築を目指すプロジェクトです。

耕作放棄地を畑として耕し直し、その上に木製架台を用いた太陽光発電用ソーラーパネルを設置して、畑の管理などに使う電力を自然エネルギーで賄おうというものです。

なぜ木製なのか・・・

一部の乱開発により社会的イメージが悪くなっている太陽光発電。

一方、再生可能エネルギーの切り札として太陽光発電は期待されています。



これからの太陽光発電には、自然との共生・共存が不可欠と言えます。このまま、無計画に太陽光発電所が増えていくと、日本の美しい山々や田園風景が損なわれてしまいます。太陽光発電の良い点を生かしなら、日本人が大切にしてきた景観を守ることはできないだろうか・・・。

「農業＋木製架台＋太陽光発電」

我々は、ソーラーシェアリング用木製架台を用いて、まちづくりを推進するプロジェクトです。